

広報ただみ診療所

朝日診療所

所長 若山 隆



「新年、あけましておめでとうございます。」

ふりかえれば昨年1年間もいろいろなことがありました。なんといっても新型コロナウイルスの流行があります。「人と会う」という行動に多くの制限がかかりました。多くの医療機関または高齢者施設で面会制限がなされ、大事な親族のそばにいられず、はがゆい思いをされた方もいるのではないのでしょうか？ 外食や忘年会・新年会などの宴席での楽しみも減ったり、2021年度の只見の雪まつりも中止になってしまいました。年末年始のご親族の帰省なども自主的に控えるなど影響があった方がいるかとおもいます。診療所に関しましては、2020年4月から朝日診療所の常勤医師が3名→2名に減員となりました。そのため、夜間(平日は20:00-9:00、休日は17:00-9:00)の診療対応をストップすることになり、町民の皆様にはご迷惑をおかけすることになってしまいました。

まだまだ大変な状況ではありますが、良いニュース

もあります。新型コロナウイルスに対するワクチン開発が急ピッチで進められ、欧米などでワクチン接種がはじまっています。日本でもいずれワクチンが受けられるようになると思います。朝日診療所では2020年度は診療所に2名の看護師が就職してくれました。二人とも非常に頑張ってくれており、大きな助けになっています。おかげで昨年末ごろから、診療所で対応可能な入院患者数も増やすことができました。

今年度はまだまだこれからです。奥会津は厳しい冬の大雪をじっと耐えて、次の春をまつ生活を続けてきました。朝日診療所としても、この大変な時期だからこそ、職員が一丸となって、地域医療の拠点として質の高い総合診療を提供し、地域社会の健康増進と安心に貢献するために頑張っていきます。今後とも町民のみなさまの応援・ご協力・ご指導よろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊

vol.73 越智 めぐみ



「はじめまして、只見町」

みなさん、こんにちは。この度11月から地域おこし協力隊として着任し、心志塾で働いております越智めぐみです。

今までは広島県や兵庫県で、塾講師として文系科目を中心に指導してきました。大学時代のアルバイト経験を含めると、15年間塾に関わっています。

実は昨年働いていた塾が過疎地域にある教室で、少子化問題によって生徒数が集まらず、十分な収益が見込めないため閉鎖されることになりました。民間の教育事情はかなりシビアです。自分自身の力不足を大きく実感するとともに、このままでは都市部とそうではない地域との教育格差がどんどん大きくなるのではないかと危惧し、これまでの経験を活かしながら自分に何かできることはないかと考えたときに、公営塾の存在を知り、「これだ!」と思い地域おこし協力隊に応募いたしました。

初めて只見町に来たのは、11月からの着任が決ま

ってすぐ、10月の中旬。直前まで暮らしていた神戸から車で参りました。新潟県の小出インターから紅葉の始まっている山間部を走りながら、まるで日本昔ばなしのように、人の手がほとんど加えられていない自然に興味が止まらず、また、田子倉湖の絶景を見て感動したことは、未だに忘れられません。そして関わる方々の心の温かさや穏やかさを肌で感じ、一日で只見町が大好きになりました。

そんな大好きな町で自分の大好きな教育に関わることができるのは、大変幸せなことだと感じています。心志塾に来た皆さんや只見高校に通っている皆さんと一緒に、楽しく机に向かい、皆さんの将来が少しでも明るいものになるよう全力でサポートしてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。